

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

平成29年3月1日

発行

日吉台学区自治連合会

日吉台学区まちづくり協議会

発行責任者

林 堅太郎

編集責任者

村澤 真保呂

題字は

4-11-2

梶谷清苑さん

規模適正化説明会開催

「統合ありきではない」と市教委

日吉台小

大津市教委が検討している市立日吉台小学校の規模適正化問題の説明会が2月2日、日吉台市民センターで開かれた。同小は、全学年でクラス替えができない小規模校の「検討が必用な学校」として市教委の規模適正化ビジョンにリストアップされ、学校統合化が危惧されている。説明会に出席した井上佳子・市教委教育次長は開会あいさつ



市民センターで行われる小学校の規模適正化説明会

説明会には市教委側から井上次長ほか今井弘樹教育監、人見和宏学校教育課課長補佐ら6人、日吉台住民35人が出席。規模適正化ビジョンの概要、基本的な考え方などの説明のあと質疑が行われた。質疑では、市教委側が

日吉台小のコミュニティ・スクール化を打ち出し、こ

で教育を考えるのではなく地域住民、保護者の考えも活かしながら教育を進めてゆこうというもの。

地域の人も入ってともに考える場だ」と答え、「住民のみなさんが入って行うコミュニティ・ス

で「われわれは決して学校を統合しようと思っていないのではない。いろいろ意見をいただきたい」と述べ、統合ありきの規模適正化ビジョンではないことを強調した。そのうえで市教委は、29年度から日吉台小学校について、コミュニティ・スクール制を導入することを明らかにした。

日吉台「コミュニティ・スクール」市内小学校では初の指定

大津市教委は、2月22日開いた日吉台小学校協力者会議の席上、29年度に同小をコミュニティ・スクールに指定することを正式表明した。市内では、すでに日吉中、皇子山小がコミュニティ・スクールに指定され学校運営が行われているが、小学校で同制度が導入されるのは、共に指定となる真野北小とならんで初めて。地域が学校の運営にか

かわるコミュニティ・スクールは、将来のまちづくりを担う子どもを育てるために地域、家庭、学校が協働して考える場、「学校運営協議会」を設置した学校を指す。これまで同小には、学校協力者会議があり、学校が定めた「めざす子ども像」づくり、学校の求めに応じて地域、家庭が支援してきた。コミュニティ・スクール導入後は、日吉

台小の子らをどんな子どもに育てたいか、地域、学校、家庭の三者が共有協働で「めざす子ども像」づくりを進めることになる。同小では、今後コミュニティ・スクールの柱となる学校運営協議会委員の選定、学校協力者の依頼を経て短期ビジョン、長期ビジョンの検討に入

て確保していくことを目的としている。保護者や地域の皆さんとともに今後も検討を行ってゆきたい。この説明会は正にそのスタートだ」と述べ、今後の具体的な施策の実現に住民の協力を求めた。

教育問題を考える会発足へ

「子ども園設置課題など協議

学区自治連役員会で設置が認められた学区自治連特別委員会「教育問題を考える会」（仮称）について、2月の学区自治連役員会で委員会メンバーが報告され、年度末までに発足、初委員会を開催する。

委員メンバーは学区内の小学校、幼稚園関連ほか、教育関連団体、自治会組織に依頼、推薦してもらった委員ほか学区内からの公募の委員ら15人前後で構成する。委員確定後初会合を開催、委員長、委員会名など決定後、協議に入る。

日吉台では、園児が減少するなか、日吉台幼稚園を民間による認定こども園に転換する構想が、実現性を帯び、この委員会ではこども園設置で考えられるさまざまな問題や課題などについて地元の見解を集約、市やこども園設置法人に働きかけるほか、市の規模適正化

湖西道路4車線化工事着工

坂本北―真野IC間

日吉台学区の東端を南北に走る湖西道路坂本北

IC真野IC間の4車線化工事が、業者選定後29年度事業で着工されることになった。

同区間6・6キロは、現在上下2車線で開通しているが、観光シーズンや朝夕のラッシュ時には車両が集中する交通渋滞の常習地。南行きは仰木雄琴IC、北行きは坂本北ICを先頭に渋滞が多発、沿線住民から早期の4車線化が望まれていた。

計画によると、現在の湖西道路東沿いの琵琶湖側に新たに2車線を整備、

不明者搜索体制構築

ネットワーク新年度でスタート

徘徊老人や認知症の行方不明者を早期に捜し出す日吉台学区独自の「日吉台学区SOSネットワーク」の搜索体制づくりがほぼ完了、29年度から運用を開始することになった。同様の搜索について、これまで学区自主防犯推進会が独自のシステムで搜索していたが、学区のSOSネットワークの構築で今後は、行方不明者の早期発見と広範囲の搜索が可能になった。

学区自治連は昨年2月、搜索体制の構築づくりについて問題提起、学区内の各種団体の実務者で組織する学区各種団体連絡協議会で検討を重ねてきた。行方不明者が出た場合、どのように連絡、どう搜索するか協議の結果、搜索する手配ルートについて、学区内にある各種団体の連絡ルートを利用することが最適と判断、細部を詰めていた。まとまったSOSネット

3キロの中央分離帯をはさんで上下7車線、幅20・5メートルの4車線道路となる。日吉台学区住宅地反対側の同市苗鹿地区から工事が開始、順次北上するという。滋賀国体が開催される平成36年度の完成が見込まれる。

国交省滋賀国道事務所では、4車線化が完成すると、真野ICから藤尾南ランプまで通常24分かかっていた所要時間が、14分と、最大で10分短縮するとみている。

4車線化工事にあたり、学区自治連合会では沿線の通過車両による騒音対策に十分配慮するよう同事務所に対し要望。また、同事務所は、工事開始にあたり、該当地域の住民に対し工事説明会を開くことにしている。

トワーク体制によると、行方不明者が出た場合、家族らが捜して欲しい人の「氏名、本人の身長や体重、服装」などの情報を日吉台学区の各種団体の関係者に連絡、連絡を受けた団体の関係者が携帯メールで情報を伝達するとともに搜索を發動、団体構成員が行方不明者の搜索に出動する仕組み。

学区自治連では運用開始については、新年度の学区自治連が発足する4月中旬以降としており、それまでに連絡網のルート作成を行うことになっている。

日吉台初の空き家調査

空き家認定、115戸

優良物件多数、将来また住みたい人も

市の委託業者中間報告

大津市が、都市環境研究所三重事務所に委託して調査していた日吉台学区の空き家等外観調査と空き家所有者の意識調査がまとまり、1月中旬学区自治連に中間報告された。調査では日吉台学区1,680世帯のうち、115戸を空き家と認定。空き家率は6・8%（大津市全域12・7%）だった。空き家となっているものの多くの人が寝泊りや物置として使っており、9割の人が半年に1回以上利用、空き家所有者のうち建物を保有している理由を答えた48人中10人が売却を希望、将来再び帰省してこの日吉台に住みたい人がいることも分かった。

外観調査は、同研究所が大津市に求めた土地、建物登記簿本や水道使用者開栓、閉栓情報、学区自治連の空き家情報など

をもとに昨年10月、研究所職員が外観目視による現況調査を行い、この調査をもとに空き家所有者を割り出し意識調査票を

日吉台学区の空き家戸数及び空き家率			
地区	総世帯数	空き家戸数	空き家率(%)
1丁目	418	26	6.2
2丁目	404	30	7.4
3丁目	448	30	6.7
4丁目	410	29	7.1
合計	1680	115	6.8
大津市全域	152310	19270	12.7

調査票の回収率			
配布数	回答数	不達返却数	回収率(%)
98	55	18	56.1

管理状況					
	ある	無い	確認不可	合計	ある(%)
ゴミ、汚物放置、不法投棄	10	103	2	115	8.7
汚物・排水流出、臭気発生	0	113	2	115	0.0
門、扉の破損や破損	30	84	1	115	26.1
庭の手入れ（雑草、庭木の剪定）	53	60	2	115	46.1
壊れた物・廃棄	18	79	19	112	16.1
植物の枯死、害虫発生	0	72	43	115	0.0
倒壊等の危険性	0	115	0	115	0.0
計	111.0	69.0			

空き家所有者の意識調査によると、調査票配布98に対し55人から回答を得、うち18人については、宛先不明で返送されてきた。回答では、空き家の所有者は自分名義32人▽自分と配偶者名義6人▽相続が発生し親族名義と自分、親族共有名義がそれぞれ5人と

郵送、回答を求めた。各丁別の空き家戸数は1丁目418世帯中26戸▽2丁目404世帯中30戸▽3丁目448世帯中30戸▽4丁目410世帯中29戸。各丁ほぼ同じように空き家を抱えらつきはなかった。

学区自治連の情報と同研究所が行った外観調査では、門や塀のひび割れ破損がみられる空き家が30戸、擁壁破損の家屋が18戸確認されたが、優良物件が多く倒壊の恐れのある危険家屋はゼロ、と報告された。



バスに乗り 地域の人と ふれあおう

賞	学年	氏名	作品	評
学区自治連会長賞	5	岡田 啓	バスに乗り 地域の人と ふれあおう	地域の人どうしが笑顔で話合っています。それとも子どもたちが学校での出来事を話題にしているのでしょうか。なごやかなバス車内の光景が目に見えます。コミュニティと地域の足、バスの大切さを訴える良い標語となりました。
まちづくり協議会長賞	2	島田 征範	かぞくてね バスでおでかけ たのしいな	動物園に行くのでしょうか、お買いもののでしょうか、お家のみなで出かける時のワクワクする気持ちが伝わってきます。バスに乗ると、楽しい一日が始まるのですね。
校長賞	6	谷村 めぐる	久しぶり バスで花咲く 昔ばなし	マイカー移動では生まれない光景が見える標語です。駅へ行く途中に顔見知りの人に出会って話込んでしまふ。だからバスに乗るのもいいものだよね、間接的にバス利用を推奨しているように感じました。
江若交通賞	6	八田 静博	バスの未来 みんなで乗って 守ろうよ	バスをいつまでも走らせるには、みんなにバスを使ってもらうことが大事です。この作品から「大人になっても日吉台にたくさんのバスが走っていてほしい」という熱い気持ちが伝わってきました。
佳作	1	佐久本 みちる	あるくより バスがらくだよ さかみちは	
佳作	2	佐々 実優	さあ朝だ バスにのって しゅっぱつだ	
佳作	4	谷村 みちる	何で行こう 自転車？車？ バスにしよう！	
佳作	5	川島 結良	江若バス これからの未来 役立つよ	
佳作	6	田村 光	ありがとう みんなの大事な足 江若バス	
佳作	3	喜多 心葉	江若バス 乗って楽しい 思い出を	

標語優秀作品決まる

江若バスに乗りようキャンペーン

日吉台学区自治連合会とまちづくり協議会は、昨年末に日吉台小学校の子どもたちから募集した

続いた。使用状況を尋ねたところ、寝泊りや時々使用、物置、倉庫での使用が合わせて39人にあり、半年以内に訪れ利用している人が半数あった。建物に住まなくなった理由については、「自分で住宅を新築して転居したため」と「親や子どもと住むための転居」が多く、室内掃除や風通し、庭木の剪定や除草などの管理頻度は、月に1回が最も多く次いで週1回、半年に1回以上と続いている。空き家を保有している理由については、「そのまま空き家として所有し続けたい」が最も多く理由として「将来自分や親族が使用するかもしれない」「家財道具がある」「時々使用しているから」を挙げ「できれば売却したい」が10人、「他人に賃貸したい」と答えた人は、月に1回が最も多く次いで週1回、半年に1回以上と続いている。空き家を保有している理由については、「そのまま空き家として所有し続けたい」が最も多く理由として「将来自分や親族が使用するかもしれない」「家財道具がある」「時々使用しているから」を挙げ「できれば売却したい」が10人、「他人に賃貸したい」と答えた人は

が2人いた。管理上の問題点については、「特に困っていない」と答えた人が約半数いたものの、手間や費用、遠方や高齢化身体的な困難さを訴える人もみられた。意識調査で、不達返送18人、回答なしが25人あり、学区の空き家対策委員会では、大津市に対し、未達返送者の追跡調査と未回答者へのコンタクトを取るよう要望した。

日吉台幼稚園の子どもたちによる発表会「きらきらステージ」が2月13日、同園遊戯室であり、訪れたお父さんやお母さんら家族、来賓らが子どもたちのあどけない演技や合唱、合奏に盛んな拍手を送っていた。この発表会は当初、2月8日に計画されたが、インフルエンザの流行で順延となり、この日も園児1人がインフルエンザで欠席した。発表会は、年少児、年中児7人による劇「まじよ



発表会で熱演する日吉台幼稚園児たち

「ごちそうさま」を宴席で

さんまる いちまる

3010

運動

30

乾杯後、30分は自席で食事を楽しみましょう。

10

お開きの前の10分は自席に戻って食べ切りましょう。

食品ロス削減のため、宴席での料理を食べ切る運動にご協力を。

ごみ減量と資源再利用推進会議・大津市

元氣いっぱい劇やうた

幼稚園で発表会